

平成27年 3月27日

新宿区長 殿

法人名 NPO法人 いきいき里の会
 所在地 新宿区愛住町19-13 泰美ビル3階
 （フリガナ） オガワラ エイジ
 代表者氏名 理事長 小河原 永次

事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第19条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 助成対象事業

事業名	独居高齢者孤独死予防事業
実施日時又は期間	イベント開催日時（会場）四谷地域センター 14時～16時 第28回 平成26年 6月21日 第29回 平成26年 9月20日 第30回 平成26年11月15日 第31回 平成27年 1月17日 第32回 平成27年 2月21日
対象者の範囲及び人数	新宿区在住の高齢者 参加者数 203人（他に出演者29人・当会関係者66人）
事業内容	イベント（演芸会等）を開催した。 高齢者の「とじこもりや孤立」の防止を目的として、心の癒し（お笑いの会）を実施した。
具体的な活動状況	四谷地域センターにおいて、演芸等のイベントを5回実施した。 第28回（参加者 22人）大道芸&お笑い演芸の会 第29回（参加者 21人）健康講話 第30回（参加者 64人）カラオケ・早稲田大学落語研究会&富岡洋ギター 第31回（参加者 54人）カラオケ・大道芸&箏曲演奏会 第32回（参加者 42人）三遊亭左圓馬師匠と大江戸小町会、大喜利、講談
事業の成果	毎回、参加者70人を目標に新聞折り込み、ポスティングやポスターを掲示してイベント開催の案内・周知をした結果、リピーター（案内希望者）も100名を超えた。 イベントの都度アンケート（別添）を実施して要望に応えられるよう検討し実施した。 ＊近隣地域の方も会員に加わっていただき、イベントを盛り上げていただきました。 ＊イベント実施状況（写真）を、4の活動の成果に添付

2 助成対象事業費内訳（実績）

※ 内訳は、できるだけ「単価×数量」で示してください。

※ 1万円以上のものについては、領収書（写し可）を添付してください。

収入	経費	積算根拠（内訳）		金額
	団体負担金			369,554 円
	参加費・資料代等	イベント参加費 有料入場者数 151 人 入場料@300 円×151 人（招待 52 人）		45,300 円
	その他の収入	イベントオークション売上等		12,400 円
	協働推進基金助成金	助成金交付額		310,000 円
	計			737,254 円
支出（助成の対象になる事業費の内訳）	費目	決算額	内訳	
	会議費	19,200 円	四谷地域センター利用料 @4,800×4 回	
	宣伝費	76,680 円	イベントチラシ・プログラム印刷代 5 回分 62,424 円	同チラシ新聞（朝日・読売）折込料 4 回分 14,256 円
	リース費	0 円		
	消耗品費	0 円		
	謝礼	108,000 円	演芸出演料 第 28 回出演者 3 人 9,000 円 第 29 回出演者 1 人 10,000 円 第 30 回出演者 10 人 23,000 円 第 31 回出演者 9 人 11,000 円 第 32 回出演者 6 人 55,000 円	
	人件費	100,000 円	イベントスタッフ活動費（手当）1 回 7 人 1 回当たり活動費金額 50,000 円 5 回×50 千円=250,000 円(内)100,000 円を計上した。	
	材料費	28,640 円	イベント小道具（オークション他）28,640 円	
	交通費	75,090 円	スタッフ交通費 5 名分 1 回 15,018 円×5 回	
	その他諸経費	156,138 円	チラシ・開催案内等郵送料 5 回分 54,388 円 カラオケセット借料 2 回 43,200(21,600×2) イベント器材（琴）運搬費 50,000 円 イベント用品運搬費 8,550 円	
助成対象事業費（小計）	563,748 円			
余剰金	0 円			
対象外事業費	173,506 円	人件費超過分 150,000 円 第 28 回会場利用料 4,800 円 出演者茶菓代 18,706 円		
事業総額	737,254 円			

3 助成事業の成果と課題

評価のポイント	自己評価
事業を計画した当初に決めた目標について、どこまで達成できたか。	22年6月から始めたイベントも32回を重ねたが、参加者にも好評で、次回開催を楽しみにしているリピーターも多く、目的とした高齢者の「引きこもり防止や癒し」に寄与できたと思います。
地域にどのような効果があったか、又は今後見込まれる効果は何か。	地域の高齢者、新宿区や社会福祉協議会とのつながりを深める効果がありました。今後も助成金はなくなりますが、イベント開催の継続に努力し、独居高齢者宅への訪問活動との相乗効果を期待したいと思います。
費用対効果は適正であったか。	「新宿区 NPO 活動資金助成事業」であることをチラシに表示したことにより、地域住民のイベントへの信頼が高まり、効果は大であったと思います。
新たに気づいた課題・問題点は何か。また、どのような対策が考えられるか。	<p>会員やリピーターの確保、地域との交流など課題はあるものの、設立趣旨に沿った活動の継続に努力していきます。</p> <p>今後も設立主旨を理解してもらうよう、地域と密着した交流に努めます。</p>
理解者や支援者が広がったか。	<p>地域自治会幹部との交流、近隣高齢者宅の訪問等により、地域の理解者も増えつつあり、会員増や活動参加に期待しています。</p> <p>社会福祉協議会や NPO 協議会の行事には、これからも積極的に参加して連携を深めていきたいと思っています。</p>
事務局の執行体制は十分だったか。	事務局に常勤者不在のため、行政等との連絡において不便さがありますが、スタッフ間の連絡を密にして対応していきます。
今回の事業を次年度以降も継続していく場合、助成金だけに依存せず、今後も安定的に事業を継続するための財源確保等に向けた取り組みはなされていたか。	<p>資金面において、事業継続に苦慮しておりますが、当会の設立主旨のPRに努め、会員増による、会費増や寄付募集活動等により収入増を図り、安定した運営ができるよう取り組んでいます。</p> <p>今後も、会員募集や企業・団体への支援依頼、関係団体会員への寄付のお願い等により、安定的事業運営に必要な財源の確保に努めます。</p>
その他	

4 活動の成果

*事業の成果物（冊子など）又は、事業の開催時の写真など提出できるものがある場合は添付してください。
*参加者の意見なども報告してください。

第28回～第32回イベントの配布チラシ添付

同イベント開催状況写真添付

同イベントでのアンケート集計表添付

アンケート内容では

- ・イベントを楽しみにしているとの意見が多数あった。中でも落語、ギター演奏の人氣が高く、また健康講話も参加者に好評であった。
- ・会費や日程また出演者に関する意見も見受けられる。
- ・イベントを通じ、リピーター同士や当会スタッフとの交流も見受けられ、毎回、和やかな雰囲気で開催することができています。

落語などお笑い演芸では、大きな笑い声が弾み、健康講話では工夫を凝らした軽体操を隣同士でペアを組み、楽しみながら、笑顔で体を動かしていました。

